

CASBEE新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1. 建物概要

建物名称	(仮称)本馬越1丁目介護施設 新築工事	外観パース等 図を貼り付けるときは シートの保護を解除してください
建設地	新潟県新潟市中央区本馬越1丁目800-1の一部 他4筆	
用途地域	第1種住居地域、市街化区域	
建物用途	病院,	
竣工年	2022年6月 竣工	
敷地面積	1,490.93 m ²	
建築面積	558.14 m ²	
延床面積	2,116.14 m ²	
階数	地上4F	
構造	S造	
評価の段階	基本設計段階評価	
評価の実施日	2021年7月26日	

2. CASBEE新潟の評価結果

 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★	B-	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{44.2}{52.0} = 0.8$
---	----	--

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に 使い続けるために	3.4		バリアフリー計画	3.0
			維持管理	3.5
			設備の更新性	3.6
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産 を守るために	2.7		耐震・免震・制震・制振	3.0
			信頼性	2.4
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりの ために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.0		建物外皮の熱負荷抑制	3.0
			自然エネルギー利用	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づく りのために	2.0		節水	1.0
			躯体材料以外でのリサイクル材の使用	1.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代 に引き継ぐために	2.0		生物環境の保全と創出	2.0
			敷地内温熱環境の向上	2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活か したまちづくりのために	3.0		まちなみ・景観への配慮	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

新潟市の重点項目に関する配慮事項を記載してください。

- ・メンテナンス性に配慮した内外装計画とした。
- ・主要設備機器は屋外に設置し、バックアップ設備のための十分なスペースを確保している。

CASBEE[®]新潟

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)本馬越1丁目介護施設 新築工事	階数	地上4F
建設地	新潟県新潟市中央区本馬越1丁目800-1の一部 他4筆	構造	S造
用途地域	第1種住居地域、市街化区域	平均居住人員	73 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2022年6月 竣工	評価の実施日	2021年7月26日
敷地面積	1,491 m ²	作成者	宮下 拓也
建築面積	558 m ²	確認日	2021年7月26日
延床面積	2,116 m ²	確認者	宮下 拓也

外観/パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

項目	スコア
Q1 室内環境	2.8
Q2 サービス性能	2.9
Q3 室外環境(敷地内)	2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.9

項目	スコア
LR1 エネルギー	2.8
LR2 資源・マテリアル	2.7
LR3 敷地外環境	3.2

3 設計上の配慮事項

総合	その他
周辺環境に圧迫感を与えない配置計画とした。また防犯と周辺への光害の両方に配慮した屋外照明の計画とした。	特になし
Q1 室内環境 内装材についてはほぼすべてにF☆☆☆☆建材を採用しシックハウス対策に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 空地率を60%以上確保し周辺環境に圧迫感を与えないような配置計画とした。またブラインドにも配慮した建物計画とした。
LR1 エネルギー 建物外皮は吹付硬質ウレタンフォーム断熱材を敷設し熱負荷抑制に配慮した。	LR3 敷地外環境 屋外照明は防犯への配慮を行った設定照度を検討し、かつ周辺への漏れ光に配慮した器具の設定を行った。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される